

令和4年度 「好きを仕事に」 記録集

一般社団法人播磨ひとづくりコンソーシアム

第1回 令和4年7月31日(日) 16:00~17:30 Zoom

1 テーマ 『作る&創る』

2 講師 白倉寿夫氏 老舗料亭「瓢亭本店」店主

奥田誠一氏 美術家

保科琢音氏 絵本作家、紙芝居作家、落語家

出版社ラフコネクト取締役社長

宮崎英寿氏 地域DX化推進コンサルタント

早稲田大学大学院スポーツ科学学術院講師



3 参加校 姫路市立東中学校、姫路市立書写中学校、姫路市立広畑中学校 計5名

4 記録 世の中にある、たくさんの「もの」はすべて、誰かの手で作られています。そこにはどのような思い、アイデア、技術などがあるのでしょうか？作る、創ることの4名のプロフェッショナルに、大切にしていることや苦勞などについて、5名の中学生がお話を聞きました。

Q1 どのような思いの中で、「作る&創る」という仕事に就いているのですか？

自分の好きな料理を活かして、人と人が繋がるご縁をつくることのできる可能性を感じています。だから一つひとつ愛をこめてつくっています。

自分の独創性を生かして、世の中の常識と思われていることに、作品を通して問題を提起したいと思って独立しました。

読んでくれる人の想像力を超えたいと思って、絵本や紙芝居など、いろいろなことに挑戦しています。そのために、いつも自分の想像力をアップさせるために工夫しています。

民間の企業で、日本人とアメリカ人それぞれ30名のプロジェクトチームをまとめる仕事をしていました。様々な意見に折り合いをつけて、プロジェクトを前に進めなければならないのですが、まず大切なことは自分の考えを自分自身がしっかりと理解することでした。

全員に共通していることは、自分が「したい」という強い思いを持っていることです。

Q2 「つくる」時は、どのようなことを心がけていますか？

まず大切なことは、伝えたいメッセージがあるかどうかということです。この熱い思いがなければ相手に「つくったもの」は届きません。伝える方法は全員違っていますが、この「軸」のところは同じです。

芸術では、自分の思いを押し付けても本心は伝わりません。説明しすぎないようにしています。そのあとは見てくれる人の教養や思いに任せています。料理には伝統料理と創作料理と呼ばれるものがありますが、どちらもお客さんの顔が見えていることが大切です。絵本も読み手への思い、プロジェクトチームでもプロジェクトの先にいる人のことが意識されているかどうか大切です。

Q3 お客さんからのリクエストが、自分がつくりたいものと違っているときはどうしますか？

お客さんからのリクエストには、やはりその思いをしっかり聞いて、感じて、理解して、その思いに応えることを大切にします。自分の内から湧いてくるものは、個展などの機会が発信します。

Q4 気分がのらないときや、困難に出会ったときはどうしていますか？

「料理 99%」という言葉があります。どこまでいっても完璧ということはありません。行き詰ったときに戻ることができる自分の基本を持つことです。掃除が大切だといわれるのは、毎日基本を繰り返すことで初心を確認できるからです。場所が綺麗になると自分の心も綺麗になって、内側からパワーが湧いてきます。そうすれば、違った作業をするときでも基本はぶれません。

しなければならないことから逃げてはプロにはなれません。どんな小さなことでも、やりきらなければ、自分の力の限界も持ち味もわからないままです。自分の力を知って初めて、次に行けるのです。困難は、自分を知るための大きなチャンスです。夢を実現する人は、常にプラス思考です。壁は成長のための踏み台であると考えます。厳しい状況の時ほど弱音は禁物ですね。

もうひとつ、時間を忘れるくらいに打ち込める好きなことや所を見つけておくことも、気分を盛り上げるひとつの突破方法ですね。

強い目標があり、その実現に向かって努力しているので、気分がのらないという時間もないし、困難だと感じることはありません。成長することに興味持って、学び、挑戦を続けているので自分の創作活動は誰にも負けない自信を持っています。

Q5 これから学び続ける中で、アドバイスをください？

アイデアは特別な場所や時間で生まれるものではなく、日常の生活のあらゆる場面に種があります。例えば、焼けた和紙を見たときに、焼けて面積は少なくなっているのに伝わってくるパワーは増えていることに気づきました。それが作品になるのです。

学んでいることにムダはありません。学んだことを、今学んでいることを、どのように自分の好きなことに活かすかを考えるのは自分です。先生や他の人に頼ることはありません。「これは活かせる」「こんなこともできるのでは」と感じ、想像しながら学ぶことです。

わからないことに出会ったときは、すぐに聞いたり、調べるのではなく、まず頭をフル回転させて、自分の考えを持つことです。そして、教えてもらったことと自分で考えたことをもとに、実際にやってみましょう。

あなたは「やりたいこと」がありますか？それを大切に、ワクワクを続けてください。ただ、続けるためには、今日最初に話した基本が大切です。一流と呼ばれている人は必ず、基本をおろそかにせず、自分のものできるまで繰り返し繰り返し積み重ねています。学び、経験して、自分が進もうと思っている分野にとっての基本が何かも探してください。

参加者からのメッセージ 第1回「伝える」・第2回「作る&創る」共通

- ・今回のオンラインプログラムを通して、好奇心や想像力を育む大切さや基本をしっかり着実に積み重ねていくことが重要であることを学びました。
- ・特に現代では、疑問に思ったことをすぐに調べることができてしまうので、自分でしっかり考えてから行動することが大事だと感じました。
- ・物事を作ったりする際には自分に合った方法で試してみるや、作品を作る際にいろいろな観点から見て様々な考え方を考える。
- ・将来自分の進路や職業を決める時に活きると思います。
- ・何事も失敗を恐れず、好きな事や興味のあることを突き詰めていきたいです。
- ・机の上だけの学びだけでは「もったいない」と思いました。
- ・何事もやりきってみないとわからないということを強く感じました。
- ・今回の対話で新たな考え方をすることができ、活用して行けたらいいなと思いました。
- ・自分に合った学び方も探してみたいと感じました。